



# 江別ユネスコ協会事務局だより 2014年10月31日号

◇江別ユネスコ協会事務局/067-0074江別市高砂町 24-6 教育委員会生涯学習課内(担当佐藤☎381-1069)

## 上田市長さんの講演に大拍手！2014 北海道ユネスコ大会おわる

北海道ユネスコ連絡協議会と日本ユネスコ協会連盟の主催による「第 48 回北海道ユネスコ大会：兼 2014 年度北海道ブロック・ユネスコ活動研究会」は、「希望の未来を拓く ESD・ユネスコ活動～地域・スクールとの連携をめざして～」をテーマとして、10 月 25 日（土）、札幌市「かでの 2・7」710 号室において開催され、全道から会員・関係者・一般市民ら約 120 名が参加しました。

6 月に知床で全国大会を開催した関係で例年より小規模になりましたが、充実した活動報告・討論が展開され、収穫の多い大会となりました。開催地の市長・上田文雄さんの特別講演で焔尾を飾って頂きました。江別ユネスコ協会からは田村会長、押谷副会長が出席し、酪農学園大の学生 3 名（森垣・小山・岩井さん）も参加しました。ありがとうございました。来年の開催地は室蘭市です。なお、全国大会は、来年は和歌山市、2016 年は那覇市（沖縄）での開催が予定されています。

## モンゴル出身力士はなぜ強いのか？～石井さとみ先生の学習会

日本の国技といわれる大相撲は、今や外国人力士の活躍に支えられています。とりわけモンゴル人は横綱をつぎつぎと輩出して、日本人好角家をヤキモキさせています。なぜモンゴル人力士は強いのでしょうか？酪農学園大学・農食環境学群の石井智美教授は、その秘密を科学的に究明するため、モンゴルの遊牧民の住宅に泊りこみ、家族と同じ食事を食べて、精力的に研究を続けています。

当協会では、11 月 12 日（水）午後 6 時から野幌公民館において、石井先生を迎えて学習会を開催します。テーマは「モンゴル力士が強い秘密はその食生活に！～遊牧民の食のお話」です。

海のない国モンゴルの驚くべき食生活の秘密とは？ 会員多数のご出席をお願いします。

## 無形文化遺産に「和紙：日本の手漉和紙技術」が登録されます！

文化庁は今般、ユネスコ無形文化遺産に推薦していた「和紙：日本の手漉（てすき）和紙技術」について、事前審査をしていた補助機関が「登録」を勧告したと発表しました。

手すき和紙では、すでに「石州半紙」（島根県）が 2009 年に無形文化遺産に登録されていますが、日本政府は「本美濃紙」（ほんみのし・岐阜県）と「細川紙」（ほそかわし・埼玉県）も登録申請する予定でいたため「同じ分野の文化財を単独では登録させない」という最近の関係機関の空気を読んで、先に登録された石州半紙の「範囲拡大」の形式をとって、2 つの文化財を追加申請したわけです。したがって、日本の無形文化遺産の数は、昨年登録された「和食」までで 22 件ですが、「和紙」が本年 11 月下旬にパリで開かれる第 9 回政府間委員会で登録承認されても 22 件のままです。

## 「使用済み切手」と「書き損じハガキ」の回収運動にご協力を！

当協会では創立当初より「使用済み切手」の回収運動を行い、発展途上国の結核予防など緊急医療活動に協力してきました。また「書き損じハガキ」の回収運動を実施して、日ユ連盟の「世界寺子屋運動」の資金として役立てています。今後とも皆様のご協力をお願いします。切手もハガキも、枚数の多少にこだわらず、集めた分は当協会の事務局までお届けくださるようお願いいたします。

## 2015 年版「日本的な絵入りカレンダー」を寄贈してください

当協会では「カレンダーの国際交換」活動を実施しています。日本の生活文化を外国の方に理解して頂く方法のひとつです。部数の多少にこだわらず、当協会の事務局までお届けください。

